

令和6年度学校評価結果分析

達成度については、A 4 点、B 3 点、C 2 点、D 1 点と重みをつけて平均値を算出する。「あてはまる」「ややあてはまる」を肯定的な回答として、その割合を表す。

【生徒アンケートから】

- 全23項目中、17項目で肯定的な回答の割合が80%を超えるとともに、13項目で平均値が3.3ポイントを超えており、比較的高い数値といえる。
- 1「学校生活は楽しい」とじている生徒の割合は92.8%と高い数値といえる。特に、学年が上がるごとに肯定的回答の割合は増えており、学校生活の充実と比例して楽しさを感じられていることが考えられる。合わせて、4「体育祭や合唱コンクールなどの学校行事は楽しい」との質問に対して、肯定的回答が92.1%と、肯定的回答の多い質問となった。このことで、行事を含めた学校生活全体の充実が分かる。
- 16「授業は楽しい」に対して、肯定的な回答は86.2%を占めており、昨年度に比べ5%向上している。「小グループによる課題解決学習」を実践してきたことで、生徒たち自身による主体的・対話的で深い学びが体现された結果だと考えられる。反して、18「家庭学習の習慣が身についている」の回答は、67.1%と、低い数値を示している。学年が上がるほど向上が見られているものの、中学生としての学習習慣を着実に身につけさせたい。
- 8「いじめは絶対に許されないという意識を持っている」に対して、99.3%の生徒が肯定的な回答をしており、すべての質問の中で最も高い数値となった。いじめに対しての意識付けに関しては、毎日の生活の中での指導・支援を今後も継続していく。
- 3「夢を持っており、夢に向かって努力している」では、肯定的な回答が74.3%と昨年度に比べ7%程度下がっている。特に、1年生に「あてはまらない」の回答が多いことから、キャリア学習や立志の会等、将来について考える授業を通して自分自身について考え、目指す「夢」を見つけることに気付かせたい。
- 学習面に関して、19「課題の未提出や学習用具の忘れ物はしない」では、昨年度調査に比べ2%程度の減少が見られる。ただし、同時に今年度前期調査に比べ10%程度の向上も示しており、生徒たち自身の中で課題の未提出や忘れ物に関しての意識の高まりが感じられる。これからの学習指導の中でも継続していく。20「読書の習慣が身についている」では、昨年度とほぼ同程度の6割台の肯定的な回答を示している。課題の未提出等に否定的回答を示さなかった3年生に「あまりあてはまらない」の回答が多く、受験が近づいてきたことで読書

より学習に向かう姿勢の表れとも考えられる。今後も、読書活動推進補助教員を活用し、読書が身近な存在であるよう、「読み聞かせ」等の機会も継続したい。

【保護者アンケートから】

○全18項目中17項目が80%を超え、高い評価をいただいたと考える。ここに甘んじることなく、より各ご家庭と力を合わせて生徒の育成に臨みたい。

○1「子どもは生き生きと学校生活を過ごしている」では、84.8%の肯定的回答があり、全体のうち約4割が最も肯定的な回答を占めた。

○学習面に関して、3「学校の授業はわかりやすく、熱心に指導している」や生活面の4「学校は生活面での行動や態度について適切に指導している」に関して、肯定的な回答が85%を超えており、学習や生活についての学校の指導・支援に関し、保護者のみなさまからあたたかくご理解いただいていることが分かる。

○5「学校は子どもの悩みや相談に親身になって対応している」12「学校は保護者からの連絡や相談に対してていねいに対応している」において、肯定的回答は88%を超え、生徒や保護者の皆さまからの相談に対しての対応に一定の評価をいただいていると考えられる。

○17「社会的に間違った行ないがないよう、家庭で指導している」には、98.5%の肯定的回答があり、各ご家庭において規範意識の育成に対して、高い意識を持って指導していることが分かる。今後も、家庭と学校で力を合わせ、生徒たちを育成したい。

●18「PTA活動に積極的に参加している」については、肯定的な回答が45.5%と大変低い数値を示した。PTA主催の除草作業「グリーン&クリーン」への参加は、開催日時の都合等もありそれほど多くはなかったが、授業参観や保護者会には、平日の開催であっても多くの保護者のみなさまにご来校いただいている。今後も、保護者のみなさまに「足を運びたい」と感じていただける学校行事を目指し、運営したい。

【教職員アンケートから】

○全35項目中30項目で肯定的な回答の割合が90%を超えた。また、そのうち20項目で肯定的回答が100%を占め、比較的高い数値といえる。

○28「管理責任場所の安全管理を確実に実施している」29「避難訓練や交通安全指導を適切に実施している」では、100%の肯定的回答があり、「安全・安心な学校作り」に対する職員の意識は高いことが分かる。

●17「授業や様々な活動において、効果的にICT機器を活用している」では、肯定的回答が66.7%と低い数値を示した。生徒たちがICT機器を活用する場面は明らかに増えており、柔軟な活用が見られる。今後、教職員がICT

機器を活用することで授業にどのような効果が得られるのか、分析をしながらより効果的な活用を目指したい。

【3者の比較から】

○授業については、生徒、保護者、教職員ともに肯定的な回答の割合が高い。また、生徒、保護者の回答において、大きな伸びを示しており、授業に対しての満足度の高さが分かる。ただ、一定数の肯定的でない回答も認められるため、分かりやすく楽しい授業作りを今後も目指したい。

○合唱コンクールや体育祭等、学校行事については、生徒、保護者、教職員ともに肯定的な回答の割合が高い。コロナ禍を経て、様々な行事について内容等精選を重ねているところではあるが、生徒、保護者ともに80%を超える肯定的回答があった。今後も、充実した行事運営を目指したい。

○授業や学習全般に前向きに臨むことができる生徒たちにさらに力を付けさせるために、家庭学習の充実をねらった教育活動を遂行したい。

○心の成長に関しては、生徒の回答において、「他の人のアドバイスを素直な気持ちで聞ける」「常に感謝の気持ちを持って接している」の質問で肯定的回答が向上している。これまでの教育活動をより充実させ、心豊かな生徒を育てたい。